

八潮市次世代育成支援行動計画の実施状況

(平成21年度末現在)

子育て支援課

基本目標1 安心して子育てするために

主要課題(1) 地域における子育て支援の充実(P35)

※ は重点施策

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 一時保育事業	保護者の急病・急用時及び保護者のリフレッシュにより児童の保育が困難になったときの一時保育事業を実施します。	子育て支援課	駅前保育所において、一時保育事業を実施した。延べ利用人数2,200人。	継続して実施していく。
2 預かり保育事業	市内の私立幼稚園において教育時間の前後に園児を預かる預かり保育事業を促進します。	教育総務課	市内6幼稚園すべての幼稚園において預かり保育を実施した。 (時間帯は幼稚園により違うが概ね2時から6時までの間。料金は分単位から月単位まであり幼稚園によって違う。)	各幼稚園における預かり保育事業を促進していく。
3 子育て家庭への相談事業	子育てや子どもの発達、就学に関する事など、家庭児童相談室、保育所、保健センター、教育相談所などにおける子育て家庭への相談事業の充実を図ります。	健康増進課	各種相談を実施した。 ・乳幼児相談:12回 1,005人 ・すこやか相談:30回 延べ169人 ・電話等による育児相談は随時実施	継続して実施していく。
		子育て支援課	家庭児童相談室では、年間1,285件の児童相談を受付し、子育て支援を実施した。	継続して実施していく。
		子育て支援課	子育て電話相談事業(中央保育所内で保育士が対応)を実施し、18件の相談を受けた。	継続して電話による相談事業を実施していく。
		指導課	教育相談所における電話相談、来所相談、適応指導教室事業の実施。延べ1,861件の相談があった。	今年度も相談窓口案内リーフレットを全児童生徒・保護者に配布する等、活用しやすい相談体制づくりを推進していく。
4 幼稚園における教育相談事業	市内の私立幼稚園における教育相談及び子育てに関する情報の提供を促進します。	教育総務課	市内6幼稚園中、定期的な相談を実施した幼稚園は2園、随時相談を実施した幼稚園は4園であった。	各幼稚園における教育相談事業を促進していく。

5	広報紙及び市ホームページでの情報提供	様々な子育て支援情報を提供するため、広報紙やホームページにおける情報の充実を図ります。	広聴広報課	広報紙や市ホームページに子育て支援情報を随時掲載した(平成21年度から広報やしおに「子育て情報コーナー」を設け、子育てに関する様々な情報を集約して掲載)。	継続して実施していく。
			子育て支援課	市ホームページの「子育て」のコーナーで様々な子育て支援情報を市民に提供した。また、市広報紙の「子育て情報コーナー」に毎月子育てに関する記事を掲載した。	引き続き情報提供の充実を図っていく。
			健康増進課	広報で毎月「すこやかカレンダー」を掲載した。また、平成21年度健康だよりを発行した。	継続して実施していく。
6	子育てサークルの育成	子育てサークルの活動を支援し、サークルの育成を図ります。	子育て支援課	子育てサークルの活動状況を把握し、市民に周知した。	継続して実施していく。
7	活動団体の相互連携及び団体・行政のネットワークの構築	行政と子育てサークル等関係機関のネットワーク化について検討を行います。	子育て支援課	子育てサークルの活動状況を調査し、把握を行った。	行政と子育てサークル等とのネットワーク化に向け、関係各課との協議を進めていく。
8	民生委員・児童委員、主任児童委員の活動支援	民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を支援します。	社会福祉課	各種会議・研修会をはじめとする活動支援を行うとともに、活動に対する財政的支援として、補助金1,110万円を交付した。	財政的支援を含め、引き続き、各種活動に対する支援を行っていく。
9	ファミリー・サポート・センター事業	育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員となり援助を行う会員組織の充実を図るとともに、会員の資質の向上を図るための研修等を行います。	子育て支援課	入会説明会4回(12人参加)、講習会4回(21人参加)、全体交流会1回(20人参加)を実施した。また、入会説明については、センター内でも随時実施した。援助活動1,468件、平成21年度末会員数288人	継続して実施し、会員組織の充実を図っていく。

主要課題（２） 親と子の健康と福祉の充実（P37）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 妊産婦の健康づくりの推進	妊産婦の健康の保持増進を図るため、健康相談や健康教育を実施します。特に仲間づくりや父親の育児参加をすすめ、子育てに伴う喜びを実感できるよう支援していきます。	健康増進課	パパ・ママ学級を12回開催し、279人の参加があった。また、プレママサロンを12回開催し、延べ157人の参加があった。	継続して実施していく。
2 育児支援家庭訪問事業	出産後間もない時期や、様々な原因で子どもの養育が困難になっている家庭に対して、育児・家事の支援や、具体的な育児に関する助言を行うことにより、個々の家庭の抱える養育上の諸問題の解決、軽減を図ります。	健康増進課	虐待予防の視点から、妊娠届出時にアンケートと保健師の面接を実施し、その結果をもとに、訪問・電話・来所相談等で、早期からの支援を行った。	継続して実施していく。
		子育て支援課	「フレイフレイネット」等の事業の紹介を行った。	継続して実施していく。
3 母子保健訪問指導の推進	妊産婦や乳幼児の健康の保持増進を図るため、新生児、乳幼児の家庭訪問を充実し、育児不安の軽減を図ります。	健康増進課	助産師による新生児・妊産婦訪問(新生児65人、乳児109人、産婦174人)を行った。また、保健師による訪問(妊婦1人、新生児18人、未熟児51人、乳児54人、幼児61人、学童3人、育児不安等のある保護者延べ200人)を実施した。	継続して実施していく。
4 乳幼児の健康づくりの推進	疾患や障がいの早期発見と早期治療・療育につなげるため、母子保健法で定められた4か月児、1歳6か月児、3歳児の各健康診査の充実を図ります。また、定期予防接種や乳幼児相談、子どもの健康問題等についての健康教育を実施します。	健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健康診査: 委託医療機関 747人(95.9%) ・1歳6か月児健康診査: 12回 768人(93.8%) ・3歳児健康診査: 12回 701人(89.2%) ・定期予防接種:接種者総数8,962人 ・乳幼児相談の実施 	継続して実施していく。
5 すこやか相談の充実	発育発達等が心配な乳幼児を対象に小児発達専門医、臨床心理士、言語聴覚士等の専門職による相談を実施し、発達障がいの早期発見、早期支援に努めます。	健康増進課	すこやか相談を30回実施し、延べ169人の相談を受けた。	継続して実施していく。
6 救急医療支援事業の充実	初期診療である休日診療の実施とともに、東部5市1町における小児の第二次救急医療の確保に努めます。	健康増進課	休日診療所は1,124人の利用があった。また、東部第三地区では第二次救急医療として、小児救急病院4か所が指定されている。	継続して実施していく。

<p>7 八潮市母子愛育班連合会の育成・活動支援</p>	<p>母子の健康づくりを推進している八潮市母子愛育班連合会の活動を支援します。</p>	<p>健康増進課</p>	<p>役員会、各地区錬成会等に保健師が参加し、活動を支援した。(役員会・錬成会等15回 班員延べ125人)</p>	<p>継続して実施していく。</p>
<p>8 心身障害児訓練施設「のぞみ」の充実</p>	<p>心身の発達に障がいや遅れのある子どもを対象に、専門職による日常生活に必要な基本動作の指導や訓練を行うため、心身障害児訓練施設「のぞみ」における療育機能の充実を図ります。</p>	<p>子育て支援課</p>	<p>許可児童21人に加え、待機児童を解消するため、外来児を対象とした「わかばの日」を月1回設け、親子ふれあい遊びを実施した。(希望者が多数のため、1日3回に拡大した) 年間では、許可児童が平均で19人、延べ人数では1,961人、外来児童が平均で59人、延べ人数では363人であった。</p>	<p>許可児童と外来児童のバランスに配慮しながら療育通所希望者の需要に応じていく。</p>

主要課題（3） 児童虐待防止対策の推進（P39）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 児童虐待防止の啓発	虐待の早期発見及び適切な初期対応を行うため、市民に対し、広報等により児童虐待防止の啓発の充実を図ります。	子育て支援課	児童虐待の防止を図るため、広報やしお（平成21年11月10日号）に虐待に関する身近な相談窓口等を掲載した。	継続して実施していく。
		指導課	児童虐待防止に関わる研修会に各学校の人権教育主任等を参加させるとともに、市教委主催の人権教育主任会、校長会、教頭会等において啓発を進めた。	継続して実施していく。
2 虐待相談体制の充実	保健・医療・福祉・学校等関係機関との連携を図り、虐待に関する相談体制を充実していきます。	子育て支援課	虐待の早期発見と予防のため、各関係機関等との連携を強化し、共同して対応にあたった。年間29件の虐待相談を受け付けた。	継続して実施していく。
		健康増進課	子育て支援課主管による個別ケース検討会議（月1回）へ参加し、他課や関係機関との連携を図った。	継続して実施していく。
3 虐待関係機関のネットワーク体制の強化と要保護児童対策地域協議会の設置	児童虐待問題に適切に対応できるよう関係諸機関との連携を図るため、要保護児童対策地域協議会を設置し、子どもや家族への最適な支援・援助の方法を講ずるとともに、虐待の未然防止や再発防止に努めていきます。	子育て支援課	八潮市要保護児童対策地域協議会において、代表者会議及び実務者会議を各1回、並びに個別ケース検討会議を13回実施し、94件のケース検討を行った。	継続して実施していく。
4 DV庁内担当者連絡会議との連携・強化	DV庁内担当者連絡会議と虐待対策との連携・強化を図り、虐待の早期発見・予防に努めます。	子育て支援課	婦人相談は年間10件で、その全てがDV相談となっている。	継続して実施していく。
		人権・男女共同参画課	DV庁内担当者連絡会議を3回、研修会を1回開催した。また、相談者へは子育て支援課との連携を密にし対応した。（DV相談者数40人 うち2人について一時保護をした。）	八潮市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画に基づき、継続して実施していく。
5 女性相談事業の充実	専門相談員による女性を対象としたカウンセリング及び心のケアに努めます。	人権・男女共同参画課	毎週水曜日、午前10時～午後4時、予約制による相談を行った。 場所：市役所駅前出張所内相談室 実施日：51日 相談件数：132件	継続して実施していく。

主要課題（４） 経済的支援の充実（P41）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 児童手当支給事業	小学校修了前の児童を養育する保護者に対し、児童手当を支給します。	子育て支援課	平成21年度末現在受給者数は6,559人。年間で、延べ103,916件に合計699,895,000円を支給した。	平成22年4月1日以降、子ども手当と名称を変え中学卒業までの子どもに1人月額13,000円を支給していく。
2 児童扶養手当支給事業	子どもを養育している母子家庭の親に児童扶養手当を支給します。	子育て支援課	平成21年度末現在受給者数は612人。年間で、延べ9,076件に合計303,994,270円を支給した。	平成22年8月以降、父子家庭も手当の対象となる予定である。
3 ひとり親家庭等医療費支給事業	子どもを養育しているひとり親家庭の親等に対し、医療費を支給します。	子育て支援課	平成21年度は、9,203件に合計22,323,728円を支給した。	継続して実施していく。
4 乳幼児医療費支給事業	乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、通院分は5歳まで、入院分は小学校就学前までの乳幼児医療費を支給します。	子育て支援課	平成21年4月1日から通院分は小学校就学前の3月31日まで、入院分は中学3年生の3月31日まで対象を拡大し、こども医療費として89,617件、合計148,519,372円を支給した。	継続して実施していく。
5 私立幼稚園の就園助成事業	保護者の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園児保護者に対して就園奨励費及び就園助成金を支給します。	教育総務課	平成21年度就園奨励費補助金及び就園助成金補助を行った。 ①就園奨励費 1,122人 98,393,400円 ②就園助成金 271人 4,833,900円	平成22年度については、国の幼稚園就園奨励費補助金の限度額の変更が行われる予定であり、これに併せて市の就園奨励費補助金交付要綱の改正を行う予定である。

基本目標2 子育てと仕事を両立させるために

主要課題(1) 保育サービスの充実(P43)

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 通常保育事業	保護者の就労又は疾病等により、日中家庭における保育ができない児童を対象に、保護者に代わって保育を行います。	子育て支援課	市立保育所8か所、民間保育所1か所の計9か所で保育を実施した。また、駅前保育所については指定管理者制度を実施した。	継続して実施し、今後も充実を図っていく。
2 延長保育事業	保護者の就労形態等により、長時間保育を必要とする児童に対し、延長保育を実施しています。さらに今後の需要に応じて延長保育の実施箇所を増設するとともに、保育時間についての検討を行います。	子育て支援課	中央保育所、南川崎保育所、駅前保育所、八潮ひまわり保育園の計4か所で7時から19時までの保育を行った。	今後も充実を図っていく。
3 休日保育事業	就労等で休日に保育を必要とする人に対応するため、休日保育の実施を検討していきます。	子育て支援課	実施について検討。	引き続き検討していく。
4 駅前保育ステーションの整備	多様な保育ニーズに対応するため保育ステーションを設置し、一時保育及び低年齢児を対象とした通常保育等を行います。	子育て支援課	駅前保育所において一時保育、送迎保育及び低年齢児を対象とした通常保育を実施した。	継続して実施していく。
5 障がい児保育事業	現在、南川崎保育所では、職員の専門性を図りながら、障がい児クラス「ばら組」の保育を実施しています。今後、障がいがあっても集団保育が可能な児童に対し、全保育所で保育ができる体制を目指します。また、専門職による個別指導の充実を図ります。	子育て支援課	南川崎保育所「ばら組」での障がい児保育を実施した。また、保育所入所児童と保護者を対象に専門家による障がい児保育個別指導を実施した。	引き続き障がい児保育を実施していく。また保育体制を整備し、集団保育が可能な児童の受け入れの拡大について検討していく。
6 保育施設の安全確保	計画的な修繕を行い、施設の安全確保を図るとともに、避難訓練・防犯訓練等を実施して安全管理に努めます。	子育て支援課	保育所の消防設備や屋根等の修繕を行った。また、各保育所において年12回程度の避難訓練及び年6回程度の防犯訓練を実施した。	引き続き計画的な修繕や避難訓練・防犯訓練等の実施により施設の安全管理に努めていく。
7 保育サービスの情報提供	保育サービスに関し、広報紙や市ホームページ等での情報提供の充実に努めます。	子育て支援課	広報紙や市ホームページ等での情報提供の充実に努めた。	継続して実施していく。

		広聴広報課	広報紙や市ホームページに保育サービスに関する情報を随時掲載した。	継続して掲載していく。
8 保育士研修の充実	保育士の研修を充実し、保育の質の向上に努めます。	子育て支援課	平成21年度は、新たに施行された保育指針に対応するため、保育指針に関する研修会に多くの保育士が参加したほか、障がい児保育研修等の各種研修にも参加した。	資質向上に必要な研修に参加していく。
9 第三者評価制度等の活用	公立保育所において第三者評価機関による評価を行い、保育等の評価・内容を公表する「第三者評価制度」の活用や保育所入所児童の保護者からの苦情に迅速に対応する体制について調査・研究を行います。	子育て支援課	第三者評価制度の研究を行った。	引き続き研究していく。

主要課題（２） 待機児童の解消（P45）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 認可保育所の設置	市内の私立保育園の認可化を促進し、入所待機児童の早期解消に努めます。また、保育需要に対応した保育所の計画的整備を検討します。	子育て支援課	平成22年度に新たに認可保育所を設置するための具体的な協議を、事業実施希望者を行った。また、民間認可保育園を支援するため補助金の交付を行った。	平成22年度に民設民営の認可保育所を設置するほか、保育需要に対応した保育所の計画的整備を引き続き検討していく。
2 認可外保育施設の充実	多様化する保育形態に対応している認可外保育施設に対し、保育内容の充実及び適正な運営が図られるよう適切な指導・助言を行います。	子育て支援課	認可外保育施設の立ち入り調査を行い、施設運営に対する指導助言を行った。	継続して指導助言を行っていく。
3 家庭保育室事業	保護者の就労・疾病等により、保育に欠ける乳幼児の保育を家庭保育室に委託します。	子育て支援課	平成22年度から家庭保育室事業を新たに実施するため、要綱の改正を行うとともに、事業を受託する事業者の募集を行った。	平成22年度に家庭保育室事業を民間事業者1社に委託するほか、平成23年度以降もより多く事業委託を行うことを促進していく。
4 一時保育事業（再掲）	再掲	子育て支援課	（再掲）駅前保育所において、一時保育事業を実施した。延べ利用人数2,200人。	（再掲）継続して実施していく。
5 預かり保育事業（再掲）	再掲	教育総務課	（再掲）市内6幼稚園すべての幼稚園において預かり保育を実施した。（時間帯は幼稚園により違うが概ね2時から6時までの間。料金は分単位から月単位まであり幼稚園によって違う。）	（再掲）各幼稚園における預かり保育事業を促進していく。
6 定員の弾力化による受入れ児童の拡大	低年齢児の入所希望の増加に対応するため、国が定める基準に応じ、定員の弾力化による受入れを可能な範囲で行います。	子育て支援課	国が定める基準に添った定員の弾力化による受入れを行い、待機児童の解消に努めた。	継続して実施していく。（国が定める基準については、平成22年4月1日から廃止された。）

主要課題（3） 放課後児童クラブの充実（P47）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 放課後児童健全育成事業	保護者の就労等により放課後の保育に欠ける児童の保育を行い、子育てと仕事の両立支援を図ります。	子育て支援課	公設公営7か所、公設民営3か所の学童保育所において放課後の保育に欠ける児童の保育を行った。また、公設民営学童クラブについては、指定管理者制度を実施した。平成21年度は、わかさ学童保育所の施設の一部を整備して保育スペースを拡大した。	引き続き学童保育所事業の充実を図るとともに、平成22年度はおおぜ学童保育所の入所児童が急増していることに対応するため、大瀬小学校敷地内に新たに学童保育施設を整備し、平成23年度から学童保育所機能を移行していく。
2 放課後児童健全育成事業における障がい児の受入れの推進	集団生活が可能な障がい児についての受入れを実施していきます。	子育て支援課	集団生活が可能な障がい児についての受入れを実施した。	継続して実施していく。
3 障がい児放課後児童クラブへの助成	障がい児放課後児童クラブへの助成を実施していきます。	子育て支援課	三郷養護学校放課後児童クラブ「さとっこクラブ」への助成を実施した。	継続して実施していく。

主要課題（４） 男性を含めた働き方の見直し（P49）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 意識改革及び企業等への啓発	男性を含めたすべての人が多様な働き方を選択できるようにし、働き方の見直しを進めるため、次世代育成支援行動計画を公表し、企業及び労働者の意識改革を促進します。	商工観光課	窓口カウンター等において、啓発資料として、「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画策定」・「一般事業主行動計画策定のポイント」を配布した。	継続して実施していく。
		子育て支援課	行動計画を840コーナー及び市ホームページで公表している。また、平成20年度行動計画実施状況についても市ホームページで公表した。また、平成22年度からの後期行動計画の策定を行った。	毎年度、計画の進捗状況について公表し、進行管理を行っていく。
2 子育てしやすい就業環境づくりの促進	リーフレットの配布等により家庭生活と職業生活の両立に向けた情報提供や啓発を行います。	商工観光課	窓口カウンター等において、セミナーの案内として、「企業の子育て応援推進セミナー」を配布した。	継続して実施していく。
3 妊娠中の女性労働者等への支援	妊娠中やこれから子どもを産みたいと考えている女性労働者にとって、働きやすい職場環境となるよう就業支援についての啓発を行います。	商工観光課	窓口カウンター等において、啓発資料として、「仕事と家庭の両立支援ハンドブック」・「いきいきライフ」を配布した。	継続して実施していく。

基本目標3 次世代を育む親となるために

主要課題(1) 家庭教育への支援の充実(P51)

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 家庭教育学級の充実	家庭の教育力の向上を図るため、市内小中学校においてPTAを対象とした家庭教育学級を行います。	社会教育課	小中学校15校のPTAで事業を実施した。その結果、各学校で平均5.1回の講座が開催され、延べ1,263人の保護者が参加した。	継続して実施していく。
2 子育て講座の充実	市内各小学校等において就学前の子どもを持つ保護者を対象とした子育てに関する講座を行います。	社会教育課	小学校10校で実施した。延べ763人の保護者が参加した。	継続して実施していく。
3 各種活動団体への支援	地域において青少年健全育成事業を行っている団体の活動を支援します。	スポーツ振興課	八潮市スポーツ少年団(6部会32団体)に運営助成金804,000円を交付した。また、スポーツフェスティバル等のイベントや会議の開催について、側面的に支援した。	今後についても、スポーツ少年団の発展のため、同様の支援を実施していく。
		社会教育課	青少年育成八潮市民会議が実施する青少年の主張大会や親子名作映画会などの事業支援を行うとともに、活動に対する財政的支援として、補助金80万円を交付した。	継続して実施していく。
			八潮市子ども会育成者連絡協議会、ボーイスカウト八潮第1団、日本子どもチャレンジランキング連盟八潮支部、やしお子どもセンターに補助金を交付するとともに、活動の支援を行った。	継続して実施していく。
4 地域の人材活用	家庭教育学級、子育て講座、出前講座等において家庭教育に関する地域の人材を活用していきます。	社会教育課	家庭教育学級、すこやか子育て講座の講師として、地域の人材を活用することができた。	継続して実施していく。
		市民協働推進課	出前講座において、市民編・サークル編・子ども編に37件、1,422人、民間企業編に13件847人が受講し、多くの地域人材を活用することができた。	継続して実施していく。

主要課題（２） 就学前教育の充実（P53）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 幼稚園教育の促進	豊かな人間性を育む幼稚園教育の振興のため、私立幼稚園への助成の充実を検討します。	教育総務課	市内6幼稚園に対し、合計1,334,250円の助成を行った。 (内訳) 園均等割 120,000円×6園=720,000円 教職員割 2,500円×104人=260,000円 教材補充 250円×1,417人=354,250円	平成21年度と同等額で実施予定である。
2 保育所における幼児教育の充実	公立保育所において、豊かな人間性を育むよう、就学前教育を行います。	子育て支援課	平成21年4月から新たに施行された保育指針に基づき、各保育所において就学前教育を実施した。	継続して実施していく。

主要課題（３） 学校教育の充実（P55）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 きめ細やかな学校教育の充実	交通安全教育、国際理解教育、情報教育及び福祉教育等を行い、子どもの豊かな心を育みます。また、教職員の研修を充実し、資質の向上を図ります。	指導課	市内の全小学校を社会福祉協力校、全中学校をボランティア推進校に指定し、総合的な学習の時間を中心に地域と連携した教育を推進した。	今後も市内全小中学校に指定を実施していく。
2 教育相談事業	さわやか相談員・教育ボランティア相談員による相談を行い、児童・生徒のいじめ、不登校への対応を行います。また、不登校児童生徒支援員連絡会議を充実し、関係機関との連携を図ります。	指導課	市内全中学校に、さわやか相談員各1名を配置した。また、年3回の不登校特別対策協議会を行い、成果と課題を明確にした。	八潮市不登校特別対策協議会を開催し、教育相談事業の充実を図っていく。
3 地域に開かれた学校づくりの推進	学校評議員制度及び学校公開を充実し、地域・家庭・学校が連携して開かれた学校づくりを推進します。	指学 指導課	市内全小・中学校に各5名の評議員を委嘱し、学校運営に幅広く意見等をいただいた。また、学校公開においても全校で実施し、子どもたちの学習の様子を保護者や地域の方に見ていただくことで今まで以上に学校への協力が得られ、連携が深まった。	継続して実施していく。

主要課題（４） 思春期保健対策の充実（P57）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 子どもの心の健康支援事業	保健センター、学校、家庭児童相談室が窓口となり、子どもの心の問題に関する相談を支援していきます。	健康増進課	電話等による相談を随時実施した。	継続して実施していく。
		指導課	各中学校のさわやか相談室、市教育相談所、指導課を窓口、スクールカウンセラーとも連携し、心の問題に関する相談を実施した。	同様の相談体制を維持していく。
		子育て支援課	家庭児童相談室では、保健センター、保健所、児童相談所及び学校と連携し、子どもの心の問題を支援した。	継続して実施していく。
2 性教育の充実	保健センターと学校が連携して性や性感染症予防に関する正しい知識の普及を図ります。	健康増進課	性感染症予防のパンフレットを保健センターに設置し、来館者に啓発を行った。	継続して実施し、必要に応じ学校への資料提供を行っていく。
		指導課	各小中学校における体育科・保健体育科の学習において実施した。また、小中学校においては、保護者の参加も得ながら、学年・学級活動の一環として性教育を実施した。	継続して実施していく。
3 喫煙対策等の充実	児童生徒に対する喫煙防止・薬物乱用防止の啓発を行います。	健康増進課	保健センターにおいてポスターの掲示とパンフレットを設置し、来館者に啓発を行った。	継続して実施し、必要に応じ学校への資料提供を行っていく。
		指導課	各小中学校における体育科・保健体育科の学習において実施した。また、小中学校においては、保護者の参加も得ながら、学年・学級活動の一環として薬物乱用防止教室を実施した。また、薬物乱用防止キャラバンカーを活用した。	学校医、県警、保健所等の関係諸機関とも連携し、より充実した取組としていく。

主要課題（５） 有害環境対策の推進（P59）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 有害情報への対応	情報モラルの育成を図るために、学校教育及び青少年健全育成事業を通して、子どもたちへの支援を行います。	社会教育課	携帯電話やインターネットにおいて、出会い系サイトや迷惑メールなどに対するフィルタリング普及の啓発を市民まつりなどの機会を利用して行った。	継続して実施していく。
		指導課	情報教育のみならず、人権教育、生徒指導、安全教育等、様々な分野での教育活動を行った。	継続して実施していく。
2 受動喫煙防止対策の充実	親子連れ等が利用する施設等における受動喫煙防止対策について周知を図ります。	健康増進課	受動喫煙防止について広報やしお(平成22年2月10日号)に掲載し周知を図った。	広報等により啓発活動を実施していく。

主要課題（６） 食育の推進（P61）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 乳幼児の健康づくりの推進	乳幼児の家庭での食事を通じた健康づくりを支援するため、健康診査、乳幼児相談における個別相談及び離乳食教室において食育を行います。	健康増進課	離乳食教室を12回(166人参加)開催した。また、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査において栄養相談を実施した。	継続して実施していく。
2 児童の健康づくりの推進	健康な心身と良い食習慣を形成するため、保育所、学校の給食時間や総合学習において食育を行います。また、給食献立表や給食だより等により、保護者に対し食に関する情報を提供します。	学務課	給食献立表年11回、給食だより年3回等で食に関する情報掲載、保健委員会、家庭教育学級で保護者等への食育活動を実施した。また、給食時間等の栄養士訪問指導や地場産物の給食提供、「おむすびの日」を実施した。	給食献立表・給食だより等での食に関する情報掲載、給食時間等の栄養士学校訪問指導、保健委員会、家庭教育学級での食育、地場産物の給食提供、「おむすびの日」による家庭、学校、地域の連携を図っていく。
		子育て支援課	野菜の栽培を保育計画に組み入れて食育を行った。また、献立表、給食だよりで保護者への食に関する情報の提供や児童館・子育てひろばで食に関するミニ講座や栄養相談を実施した。保育所年間食育指導計画を作成した。	継続して献立表、給食だよりで保護者への食に関する情報の提供等を実施していく。保育所年間食育指導計画に基づき計画を実施していく。

基本目標4 子どもが健全に育つために

主要課題(1) 子どもの社会性の向上(P63)

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 乳幼児とのふれあい体験の充実	小中学生等が子どもを生き育てることの意義を理解し、子どもや家庭の大切さを理解できるようにするため、乳幼児とふれあう事業の充実を図ります。	健康増進課	母子愛育班連合会事業「赤ちゃんとおそば」に協力した。(市内5か所の小学校及び学童、小学生378人参加)	継続して実施していく。
		指導課	小中学校における幼稚園・保育園との交流活動や中学校家庭科の保育学習、また中学生社会体験チャレンジ事業での訪問活動を実施した。	同様の取組を実施していく。
		子育て支援課	保育所において中学生の社会体験チャレンジの受け入れを行い、乳幼児とのふれあいの機会を創出した。	継続して実施していく。
2 こどもエコクラブ活動の推進	子どもたちが将来にわたり環境を大切にすることを意識し、環境にやさしい暮らし方を学習していく機会を提供するための環境学習事業の支援を行います。	環境リサイクル課	全国事務局で作成している冊子等の配布を行った。	継続して実施していく。
3 児童館等事業の充実	地域の児童の健全育成を図るため、児童館及び児童室における事業の充実を図ります。	子育て支援課	だいら児童館において各種事業を実施し、児童の健全育成を図った。	引き続き事業の充実を図っていく。
4 子どものためのスペースの充実	やしお生涯学習館児童室、保健センタープレイルーム、八條公民館ちびっこコミュニティルームを開放し、子どもの安全な遊び場を提供します。	健康増進課	前保健センタープレイルームを、子育てひろばとして子育て親子の交流の場に提供した。	継続して実施していく。
		市民協働推進課	やしお生涯学習館児童室が多くの子どもたちに利用され、好評であった。	継続して実施していく。
		社会教育課	八條公民館ちびっこコミュニティルームを開放し、安全な交流の場の提供に努めた。また、12月からは同ルームを子育てひろばとして子育て親子の交流の場に提供した。	継続して実施していく。

<p>5 公園の管理及び整備</p>	<p>街区公園の整備や老朽化に伴った遊具の撤去や補修を行い、公園の整備・充実を図ります。</p>	<p>都市デザイン課</p>	<p>①伊勢野ふれあい広場、八潮中央公園及び中馬場児童交通公園を改修した。 ②伊勢野ふれあい広場と真菰田児童公園に犬猫進入防止柵を設置した。 ③八潮北公園ほか26公園の遊具63基を塗装し、また、ブランコのチェーンを6基取替えた。 ④伊草橋から伊草天神橋までの区間約150m、葛西用水親水化護岸(第1期)工事を行った。 ⑤大原児童、真菰田児童、上二東児童及び大曾根西中央公園の4公園に水洗トイレを設置した。 ⑥公園施設(遊具等)の安全点検を業務委託により実施した。</p>	<p>①公園広場等の通路を改修していく。 ②大瀬運動公園等河川敷のトイレを改修していく。 ③松之木公園、八潮北公園に駐車場を整備していく。 ④伊草天神橋から草加市境までの区間約100m、葛西用水親水化護岸(第2期)工事を行っていく。 ⑤下木曾根地内に公園を整備していく。 ⑥駅前公園の整備に向け基本計画・基本設計業務を委託していく。 ⑦八条さくら堤の歩道改修工事に係る実施設計業務を委託していく。</p>
<p>6 子ども向け事業の充実</p>	<p>子どもの活動の場や機会を創出するために自然とのふれあい体験、文化・芸術活動、スポーツ・レクリエーション活動、郷土の歴史や文化とのふれあい活動等子どもが参加できる事業の充実を図ります。</p>	<p>スポーツ振興課</p>	<p>児童も対象にした「小学生から大人のための水泳教室(毎週1回:全8回)」を開催し、16人の児童が参加した。また、児童を対象に「体育室開放事業(無料)」を、隔週の土曜日に実施した。</p>	<p>前年度同様に、児童も対象にした「レベルアップ水泳教室」の実施を予定している。また、「体育室開放事業(無料)」も実施予定である。</p>
		<p>社会教育課</p>	<p>青少年育成八潮市民会議との共催により、青少年の主張大会や親子名作映画会、アニメ・アフレコ体験講座などの事業を実施した。 八潮市立八幡図書館及び八条図書館において、子どもたちに本に親しみをもってもらい、読書の喜びを伝えるために、おはなし会等を実施した。 幼児向けおはなし会には1,178人(77回実施)、小学生向けおはなし会には363人(52回実施)、児童向け上映会には382人(49回実施)、おりがみ教室には77人(9回)の参加があった。 また、市内小学校に対してなかよしぶっく事業を延べ43回、子どもの読書活動推進委員会おはなし会を延べ26回開催した。</p>	<p>継続して実施していく。</p>

		市民協働推進課	八潮市コミュニティ協議会の事業として、どんぐりこま回し大会を平成21年11月8日に実施し、248人が参加した。	前年度事業を引き続き実施していくほか、やしお生涯学習まちづくり財団でも子どもが参加できる事業を拡大していく。	
7	子ども週末活動等の支援	子ども体験教室、子ども土曜広場事業を行い、学校週5日制の導入に伴う子どもの週末活動を支援します。	社会教育課	やしお子ども週末活動実行委員会を組織し、会議を開催するとともに、小学校の校庭や体育館で、主に第1、第3土曜日の午前中に子どもの居場所として開放するやしお子ども土曜広場を延べ45回開催し、延べ3,878人が参加した。	継続して実施していく。
8	子育て支援拠点の充実	子育て支援拠点を設置し、地域の子育て支援機能の充実を図ります。	子育て支援課	平成21年10月にだいら児童館内に子育てサロンを開設。また、12月に八條公民館内にはちじょう子育てひろばを開設し、計3か所で概ね3歳未満の児童と保護者の子育てで親子が集える場所を提供し、地域の子育て関連情報の提供や子育て相談等を行い、子育て支援の充実に努めた。延べ利用人数は9,534人。	今後も地域子育て支援拠点の設置を検討し、子育て支援の充実を図っていく。

主要課題（２） 子どもの安全の確保（P65）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 こどもひなんじょ事業	「こどもひなんじょ」の充実を図り、地域の市民・学校・保護者等が連携して通学路等の安全確保に努めます。	指 導 課	八潮市防犯ボランティア32人の活動とともに、各学校、各町会・自治会等の活動も増え、子どもたちを協力して見守る体制づくりを進めた。	避難所の増加を図るとともに、地域との連携をさらに深めていく。
2 交通安全施設整備事業	安全な道路交通環境を確保するため、ガードレール・カーブミラー等交通安全施設の整備を行います。	交通防災課	カーブミラーを15基設置した。	継続して実施していく。
		道路治水課	実績なし	道路整備の際、必要に応じて設置予定である。
3 点字ブロック整備事業	視覚障がい児（者）の社会参加を容易にし、交通安全の確保を図るため、点字ブロックの敷設工事を行います。	道路治水課	4か所の整備を実施した。（歩道段差解消工事の際、当該箇所を設置した。）	歩道段差解消工事の際、当該箇所が必要に応じて設置予定である。
4 交通安全教育の充実	子どもたちを交通事故から守るため、関係機関と連携して保育所や学校・地域における交通安全教育の充実を図ります。	交通防災課	交通安全教室を41回開催し、参加延べ人数は、7,485人であった。	継続して実施していく。
5 チャイルドシート使用の普及・啓発	交通事故から乳幼児の生命を守るため、交通安全運動実施期間等においてチャイルドシート使用の普及・啓発事業を行います。	交通防災課	年4回の交通安全運動期間中、啓発活動を行った。	継続して実施していく。
6 歩道段差解消事業	障がい者・子どもの自転車・ベビーカー等の通行環境を整える歩道段差解消工事を行います。	道路治水課	平成21年度整備箇所数4か所 平成21年度末整備率98.0% (整備済144か所／整備対象箇所147か所)	整備対象箇所の内、整備可能箇所は完了済。H22以降は、伊草団地の外周道路を整備予定である。 (平成22年度は6か所予定)
7 通学路における安全確保の充実	学校の登下校時において児童生徒が交通事故や犯罪に遭わないよう、交通指導員の充実に努めます。	交通防災課	36人の交通指導員により、登下校時の児童・生徒の交通事故防止を図った。	継続して実施していく。

主要課題（3） 子育てを支援する住環境の整備（P67）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 母子世帯向け市営住宅の確保	住宅に困窮している母子世帯の住宅確保を支援するため、市営住宅抽選倍率優遇措置を行います。	営繕・住宅課	市営住宅空家4戸の募集に際し、応募者総数50世帯のうち母子世帯14世帯について抽選倍率優遇措置を適用した。 なお、平成22年3月31日現在、134戸中17世帯の母子世帯が入居している。	引き続き母子世帯向け住宅4戸を確保するとともに、抽選倍率優遇措置を継続して実施していく。
2 市営住宅建替による居住環境の拡充	老朽低層住宅の中層化建替をする中で、居住環境の拡充を検討します。	営繕・住宅課	なし	建て替えまでの間は、修繕等により対応していく。
3 子育て世帯への情報提供	乳幼児を連れて外出する際の遊び場や子ども連れに優しいトイレの設置状況など、子育て支援に関する様々な情報の提供を充実していきます。	子育て支援課	「子育て応援ガイド」を作成し、子育て世帯が利用する公共施設等において配布し、子育て支援に関する情報提供を実施した。	継続して実施していく。
4 子育てに配慮した施設整備の推進	乳幼児連れの親が安心して利用できるように、子育てに配慮した施設整備の改善に努めます。	子育て支援課	子育てひろば整備時に子育て親子に配慮した施設整備をした。また、公共施設の授乳できる場所について調査を行い、子育て応援ガイドに掲載した。	引き続き子育てに配慮した施設整備の改善に努めていく。
5 子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	新たな公共施設等の建設に当たり、子育て世帯に配慮したトイレ等の施設整備を行います。	子育て支援課	公共施設のおむつ替えのできる場所について調査を行い、子育て応援ガイドに掲載した。	引き続き子育て世帯に配慮したトイレ等の施設整備に努めていく。

主要課題（４） 子どもの人権の尊重（P69）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 人権相談事業の推進	人権擁護委員等による相談を実施していきます。	人権・男女共同参画課	毎月第2木曜日に市役所2階第3会議室にて人権擁護委員による人権擁護相談を行った。平成21年度は全12回相談所を開設し、11件の相談があった。	継続して実施していく。
2 人権教育の推進	子どもの保護と基本的人権の尊重を促進するため、家庭、学校、地域の連携により、人権教育の充実を図ります。	総務人事課	主任級職員研修及び中級職員研修において、人権問題の講義(半日)を行った。受講者は、各10人であった。	継続して実施していく。
		社会教育課	各学校で実施したPTAの家庭教育学級で人権講座を開催した。また、人権標語の募集や人権ビデオの購入、人権教育指導者養成講座の実施、関連情報の収集、周知等の啓発に努めた。	継続して実施していく。
		指導課	市内全小中学校において、各校2回、人権教育校内研修会を実施した。8月25日には、全教職員を対象に、人権教育研修会を実施した。また、児童生徒の人権作文を募集し、人権文集「いちよう」を発行した。	今後も各学校における人権教育研修会、全体研修会を充実させていく。
3 八潮市子ども憲章の推進	八潮市に生まれ育つ子どもたちの心身ともに健やかな成長を願い、「八潮市子ども憲章」の普及・啓発を図ります。	指導課	各小中学校に掲示するとともに、小学校中学年社会科副読本「郷土やしお」教師用指導資料にも掲載し、児童生徒の身近なものとなるよう工夫した。	より身近なものになるよう校長会等とも連携し、各学校のたより等でも取り上げていく。

主要課題（５） 男女共同参画の推進（P71）

事業名	事業内容	担当課	平成21年度実施状況	今後の実施予定等
1 第2次八潮市男女共同参画プランの推進	男女共同参画を推進していくため、第2次八潮市男女共同参画プラン進捗状況について評価・検討を行うとともに意識啓発の充実を図っていきます。	人権・男女共同参画課	第3次八潮市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画を推進していく。	継続して実施していく。